

第2次匝瑳市総合計画策定に係る市民懇談会（団体対象） 結果概要

- 開催日時 平成30年11月27日（火） 19時00分～20時35分
- 場 所 市民ふれあいセンター2階第3会議室
- 参加者 桑田克己(北総東部土地改良区八日市場工区副工区長)、依知川敏男(千葉県借当川沿岸土地改良区理事長)、鎌形正夫(吉田西部土地改良区理事長)、平石恭太(両総土地改良区山武支所主査)、石原勝一(武道振興会理事長)、伊藤栄治(匝瑳市農業委員会会長)、大塚栄一(匝瑳市商工会副会長)、黒須公夫(匝瑳市商業協同組合理事長)、岩井清(匝瑳市観光協会会長)、須合重徳(匝瑳市農業振興会会長)、萩原幸雄(農事組合法人八日市場植木組合組合長)、鈴木弘(（公社）匝瑳市シルバー人材センター会長)
- 市出席者 太田安規市長、大木寛幸企画課長、大木進一秘書課長、林雅之企画課室長、畔蒜稔行秘書課副主幹、江波戸英樹企画課主査、小林直己企画課主査

発言者	内 容
北総東部	<p>1. 開 会</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 意見交換</p> <p>(1) テーマ1 匝瑳市の理想の将来像について。 今後、匝瑳市がどんなまちであって欲しいとお考えですか。</p> <p>(2) テーマ2 テーマ1のまちになるために必要なこと。</p> <p>《参加者からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> 北総東部の区域は、豊和地区、飯高地区、椿海地区の一部、匝瑳地区の一部となっている。そのうち、1期区域の椿海地区と匝瑳地区の方は意外ときれい。豊和地区方面は入口が多古方面から入ってきて、南に行って行き止まりというのがいくつもある。地元で地主は何十人もいるが、自分の田んぼの周りがどうなっているか分からない人が大勢いると思う。これからは、農道脇の草、雑木、休耕地、耕作放棄地など人が入っていかないところをきれいにし、環境を保全していく必要がある。市民協働とつながるのかもしれないが、豊和地区の大寺では、保全会で草刈りを始めたが、全部は回りきれていない。農業委員会も休耕地や耕作放棄地については、一生懸命対応していると思うが、荒れている。田が荒れていると水が浸透しないため、道路の方へ

<p>市長 農業振興 北総東部 農業委員会</p>	<p>水が流れてしまう。また、荒れた田に猪やハクビシンがくると、それらの動物についているマダニも家の近くまで来ることになる。休耕地や耕作放棄地をきれいにするので、ゲリラ豪雨時の水の対策と動物によるマダニの発生対策につながるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 土地改良区と行政が相談していく形が一番良いのかもしれない。 • 若い人は勤めていて、農家をやる人がいない。 • 農業委員会をはじめ、みんな考えてくれるとは思いますが中々難しいのかなという印象。
<p>植木組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今、農業委員会も考えてくれているとの発言があった。国の施策では、大農家を奨励していて、農地利用最適化推進委員が設置された。農地の集積については、綺麗な農地であれば10町歩、20町歩の耕作をしている農家に耕作してもらえる。休耕地も1年程度であればともかく、何年もということになると農地の集積は難しい。千葉県園芸協会が間に入ってはいるものの、現在、耕作できることが前提となる。
<p>事務局 借当川沿岸</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現在は、農地の貸し手が多くなっており、それに伴って、良い土地を貸してくれるところが増えている。以前は、農地の貸し手がそれほど多くなかったこともあり、小型と大型両方の機械を所有していたが、今は良い土地を貸してくれる人が増え、また機械を2台所有すると費用もかかるので小型の機械を手放している。そのため、大型機械だけで対応できる土地を借りて、小さな田は返されている状況にある。
<p>市長 武道振興会</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 他の土地改良区も同じような状況か。 • 生産性のあがらない場所では、耕作しなくなってきている。人口減で消費も減っているので米の相場が上がらない。
<p>市長 植木組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市の基幹産業なので、現状のままというわけにはいかない。何か良い手法等があれば教えていただき、市においても頑張っていきたい。 • 外国にお米などを輸出していると思うが、輸出用に植木とか食べ物を組合で作って、または外国人労働者に生産してもらい、それを海外で販売していくというのはどうか。外国の方は日本の食べ物は安全でおいしいと思ってくれているイメージがある。日本の物は高級なものでも外国の一部の人間は食べる。一方、貧困層の外国人は、日本に来てもらい雇用すれば良いのでは。その生産したものを海外に売れば効率的なのではと思う。行政機関に骨を折ってもらわないと実現できない話だと思うが、雇用と流通の確保ができるのでだいぶ喜ばれるのでは。個人ではできないが輸出事業としてなら可能なのでは。
<p>市長 植木組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 国会でも取り上げられている案件。良い考えを頂戴した。 • 中国を例に話させてもらうが、日本で技術を修得して、本来は国外へ持ち出せない日本の良い種を持って帰り作っている。中国では、中国で生産した米を大陸育ちのコシヒカリとして、販売しているようだ。海外でどんどん生

<p>武道振興会</p>	<p>産されてしまっている。日本よりも農業技術は高く、畑においても日本よりも最先端。それが海外に流れている。盆栽の技術も国に持ち帰られてしまっている。</p>
<p>植木組合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 彼らは頭が良いから、日本で学んで向こうでそれを始めてしまう。
<p>武道振興会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人労働者がいれば、労働力はだいぶ助かるのではないかと。労働力が無いから生産できないのでは。中国やインドも都市開発が進んでいるといっても一部である。外国人労働者の管理が難しいところはあるが、生活水準が低い外国人にとって、日本で働けるということは嬉しいと思う。
<p>シルバー 人材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者から草刈りを頼まれる。山畑をどうにかして欲しいと。ただ5年、10年放置した荒地の草刈りは通常より2倍、3倍かかる。そのように伝えても時間がかかってもやってくださいと依頼が入る。先ほど話が出ていたように美化運動ではないが、面積が小さいところから整備をしていかないとはいけないと思う。シルバー人材センターでも70、80歳でも元気に働いている人が多いので取り組んでいきたいと思う。 <p>外国人労働者の件について。昔の外国人労働者は、出稼ぎということで来日して賃金を稼いでいたが、今は技術を持ち帰る。外国人労働者は研究心が強い。日本も若い人がそのような選択をしてくれたら良いのと思う。</p>
<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工関係で意見があれば発言して欲しい。
<p>商工会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期基本計画概要版P11の「2-2-2 商工業の活性化」について話をする。活気ある商店街の形成だが、大変難しい問題である。ご存じのとおり現状は、大型店やインターネットに、モノの購入が移っているが、我々商売をしている者は、そういう中で工夫をしながら努力している。 <p>一方で、若い人に商売をやってみたいという人が、市の中心部から少し離れたところで何人かいる。中小企業の振興ということで、6年前に小規模企業振興基本法が制定された。低利の融資や新聞などにも載ったスタートアップといったサポートなど、法律的には整備されてきている。若い人へ商売に対するチャレンジを商工会を通して促していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>もう一点、横芝光町から5キロ区間匝瑳市に向かって高速道路の建設が進んでいる。完成は5年～6年後のようだが、銚子連絡道路が匝瑳市まで開通されれば、常磐道や東北道など、あらゆるところと繋がる。まちの魅力を高めて、外から人を呼び込み、まちに寄ってもらった際、みなさんに買ってもらえるのではないかと。そして、「駅からハイキング」が今年も2ヶ月ほど開催されている。平日でも意外と他の地域から匝瑳市に足を運んでもらっているようだ。そういう意味でも市のあらゆるところを高めていく必要があるのではないかと。</p>
<p>商業協同</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 匝瑳市の理想の将来像について、活力あるまちをつくるには人口が増えな

	いとまちの発展はないと思っている。若い人に来てもらうためには、税制面での優遇を徹底的に行うべきだと思う。若い人を増やすことが一番大事で農業の活性化にもつながるのではないかな。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 若者の人口を増やすためには、空港までのアクセス改善が必要ではないかな。成田市中心にモノが動いている割にはアクセスが悪い。学生も親が送り迎えをしているようだ。芝山鉄道ではないが、成田市とつなぐことができる市町があれば発展すると思う。
市長	<ul style="list-style-type: none"> おっしゃるとおり。近隣の首長と相談している。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> バス会社と連携して匝瑳市と成田市をバスで結ぶとか、ホテルと契約してバスを出してもらうなど。
植木組合	<ul style="list-style-type: none"> 第3滑走路の建設もあり、今後雇用の増加も見込めるので、匝瑳市は空港から20キロ圏内と近い、工夫すれば若者が来るのではないかな。また、多古台の分譲地が完売する勢いだと聞いている。匝瑳市も同じような試みをしてはどうか。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 多古台から東京へバスが出ているが、匝瑳市から東京へのバスはあるのかな。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 往復何十本とある。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 市民にあまり知られていないので、PRが足りないのでは。成田空港は通るのかな。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 成田空港は通らない。東京駅から成田のホテルを通過して多古を回って匝瑳市に着く。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 成田駅も行けるようになるとだいぶ違うのではないかな。
植木組合	<ul style="list-style-type: none"> 私は須賀地区に住んでいるが、須賀地区は保育園、小学校、小児科の病院があるということで大分住宅が建ってきた。第3滑走路の工事に伴い匝瑳市も住み良いまちづくりをお願いしたい。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅もなく、飯高檀林など有名な観光地があるのに知らない人が多いので、イベントを行いPRしてはどうか。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 色々御意見を頂いているが、観光協会では、駅からハイキングや駅前にある匝りの里で電動自転車を貸し出している。若い人がレンタサイクルを使い、短路であれば八社参り、長路であれば飯高檀林、ふれあいパーク八日市場などへ行っている。また、東京駅にパンフレットを置くなど努力しているが、なかなか難しい。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> 匝瑳市には宿泊施設がない。匝りの里周辺に市で宿泊施設を造り、管理してはどうか。そういう意味でも匝瑳市は来づらい場所となっている。武道をしているので外国との交流もあり、その関係者が匝瑳市に来る課題として、空港から匝瑳市へのアクセスの問題や宿泊施設がないことが挙げられる。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設がないことが一番の課題。宿泊施設があれば今以上に観光客が来る。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 確かに宿泊施設がないのは大きな課題という認識。

シルバー 人材 武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊の話がでていますが、民泊はどうか。民泊を行政で管理できればと思う。空き家が増えているので活用してはどうか。 ・ 交通の便が良ければ、民泊という流れになるのかもしれないが。観光のためにタクシーを利用したら交通費が高くてついてしまう。市内循環バスをたまに見かけるが需要がないように見える。市内循環バスの維持費は大変なのではないか。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間 7,000~8,000 万円かかっている。ただ、市内循環バスは観光というよりも、交通弱者の足として走らせている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊の話が出ていますが、最近「農家民泊」という言葉をよく聞いている。市内の事例や、やってみたいという声はあるか。
農業振興会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞かない。空き家を使ってということか。 ・ 空き家もそうだが、自分の住まいの一部を提供してというような。
農業振興会 観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ それもない。 ・ アルカディアの会で活動している人がいると思う。若い人が農作業や里山活動をしに来ているようなので、空き家を活用してもらおうなど協力してもらおうと良いのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOが間に入って、飯塚辺りが多いが、古めの空き家に住まわれている人も結構いて、先ほどから耕作放棄地の話が出ていますが、休耕の田んぼを復田して無農薬のお米を作っているような事例がある。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表の方とは色々相談したり、連絡を取り合っている。今後、もっと協力を広げることが出来ればと思う。
吉田西部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の件で言うと、本当に担い手がいらない。地区の中で組合員は 23 軒いるが、実際に耕作している人は 3 人しかいない。その方も 70 歳近くであり、あと数年で誰も耕作する人がいなくなってしまう。でも、農地を維持管理していくためには誰かがしていけないといけない。30 年ほど前に区画整備の話が出たことがあるが、費用面で反対となった経緯がある。現在は当時やらなかったことを後悔しているが。現在、区画整理については、モデル地区としてできないかと海匠農業事務所と話しをしていて、地権者に負担がかからない方向であれば検討しようとのことで進めている。中間管理機構が間に入っているが、多少お金はかかってしまうようだ。地権者は多少でも負担があれば反対されてしまう。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借当川沿岸土地改良区は、区画整理の話は進んでいるのか。
借当川沿岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備組織を作る段階。農家負担が 10 アール 10,000 円を超えてくるとまとまりにくい。調査費は工事に入ればお金はかからないが、事前の調査費用に大金がかかる。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用については、国、県、地元の市町村、地主ということで率が決まっている。
借当川沿岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に区画整理について話が出た時、自分も反対したが、行っておけば良

	<p>かったという思いもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で大きな会社が農業に参入している事例はあるか。 ・ 市内ではないが、AIを使って管理をして生産性を上げるなど、異業種が農業に参入しているという事例は多い。
吉田西部 事務局	
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大手企業でいうと伊藤忠商事が視察に来たが、条件が合わなかったということがある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家の方からすれば大企業参入は良い話として捉えられるのか。
吉田西部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家やめてもそこで収入源を得られるのであれば。ただ、土地の維持管理が難しい。土地面積が小さく補助金が使えない状況。労働者がいなくなると困ってしまう。今後、休耕田が増えるのは目に見えて分かっている話。後継者がいれば続けていくのだろうけど、今の機械が壊れたらやめますという感じ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地と担い手不足というのが課題になっているということか。
吉田西部	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおり。今、小学生の体験学習で田植えとか稲刈りをしているが、その子たちが担い手になるかという疑問もある。農家の収入は厳しいため、子どもたちがその気になっても親が反対すると思う。
両総	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在必要なのは基盤整備と思う。やはり、担い手の人たちは条件の良い土地を借りていく。ほ場が狭いとなると借り手がつかない。ほ場の大区画化かパイプライン化、暗渠排水を利用して、高収益作物の転換を推進して儲かる農業をPRしていくべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報道を見ていると、農業は人気が出てきていると言われているが。
両総	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米作の方は低迷しているが、畑作は伸びている分野だと思うので、そういうところに転換していき、農業が儲かるというところをPRしていかないと担い手が集まらないと思うし、そういったところを市で補助してもらいたい。区画整理の事業実施に関して計画策定をする際の費用補助がないので、市が単独で補助してくれるのであればそれが一番ありがたい。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭市はハウス園芸が多いように思う。なぜ匝瑳市は田のみなのか。旭市の農家はびっくりするような収入がある。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭市は土地も平坦なところが多いが、匝瑳市の半分は里山になっていて、地形的に旭市のほうが有利。
吉田西部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家で生活ができれば、みんなやると思う。農家で生活ができないから勤め人になるのではないか。
農業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家で生活できないことはないと思うが、土日休みは絶対はない。
借当川沿岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の農家の規模は小さい。大きい土地を持っているところはある程度休みを持てる。稲作をしているときに休みは取れないが。農閑期の休みは長く取れるというメリットはあると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植木も同様か。
植木組合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植木の場合はこれを収穫したら休みを取るなど、自分たちで休みを調整で

吉田西部	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 米は相場が決まっているので、無農薬の米など付加価値をつける必要があるのではないか。
商業協同	<ul style="list-style-type: none"> 素人考えだが、土地改良区で個人の地主で分けず、まとめて貸したりはできないのか。
吉田西部	<ul style="list-style-type: none"> それが大区画整理のことで、農地中間管理機構が貸し出しをしているが、なかなか話がまとまらない。今ある 150 町歩のうち 50 町歩位が休耕地になったら、区画整理に対して後ろ向きな人が考え出すようになると思う。どこの家庭もそうだが、米を食べない。全国的に見ても同様の傾向。消費が伸びないので米の値段が上がらない原因の一つなのかもしれない。
武道振興会 市長	<ul style="list-style-type: none"> 匝瑳市に外国人就労者は何人位いるか 昨日も話題に出たが、外国人就労者の人数は把握していない。市内に住んでいる方は 400 人程度いる。
武道振興会	<ul style="list-style-type: none"> みなさんが挙げている問題は、結局のところ労働力が足りないということではないか。人が来て働いていれば利益が上がると思う。だが、それをクリアするには日本人では無理なのでは。行政が、例えば文化交流という観点から姉妹都市を作り、そこから数百人単位で外国人を受け入れ、教育し、数年ごとに入れ替えを繰り返し、労働力を活発化させ、流通を向上させるのはどうか。海外から技術職を入れたところで海外に技術を持って帰られるという懸念があると話が出たが。
観光協会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 単純労働でないと、みんな技術を持っていかれる。 最後にこれだけは話しておきたいということがあれば、お話しいただきたい。
商工会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり戦略室はどのようなことを担当しているのか。 企画課の中にあり、中心に扱っているものとして、人口減少対策について総合的に行っている。本日、話に出ていた空き家の活用の問題、転入者を増やす対策、婚活など様々なことに取り組んでいる。 <p>本日は、耕作放棄地、担い手ということが大きな課題として挙げられ、他にも成田へのアクセス、宿泊施設の問題など沢山意見を頂きお礼申し上げます。頂戴した意見は市役所の中で共有しながら、今後の検討材料とさせていただきます。</p>
<p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>	